

## 本 時 案（第一次の第2時） ※ 簡易版

目 標	<p>対面授業ならではの新たな知見の獲得を目指す。また、整数の性質について理解し、問いに応じた適切な運論ができるようになる。 【II 論理的思考力】</p> <p>○課題の解決に向け、解法の糸口や手筋を意欲的に学び取り、内容理解および定着・応用に努める。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○整数の問題においては、必要条件を用いた「解の絞り込み」なども有効な手立てである。“同値変換なのか必要条件による候補の拾い上げに過ぎないのか…”、十分性の確認も含め、適切な考察ができる。 (知識・理解)</p>
-----	---

学 習 活 動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準，観点，評価方法
1 各自で予習内容の確認と設問内容の再確認を行う。	○生徒によるプレゼンテーションに先立ち、設問を読み上げ論点を再確認させる。	○課題解決や理解・定着に向け、意欲的に取り組んでいる。(関心・意欲・態度) 〈観察〉

整数の性質を理解し、必要条件による解の絞り込みや十分性の確認ができる。

2 生徒によるプレゼンテーションを自らの解答と比較し(批判的に)見取る。	<p>○質問の有無を問う。(過去回においては、残念ながら答えや表記の間違いの指摘はあったものの、補足の指摘やベター意見は出にくかった。→授業者による論点構成。)</p> <p>※予定している発問等</p> <p>①連続する二つの整数は互いに素【確認】</p> <p>②<math>(5x+1)/(x+1)</math>が整数であることは、<math>P</math>が整数であるための必要条件【確認】</p> <p>③<math>(5x+1)/(x+1)</math>が整数であることを用いた解の候補の絞り込み【別解考察】</p>	○より良く問題解決をするための新たな知見の獲得に努めている。(関心・意欲・態度) 〈観察〉
3 プレゼンに対する質問、授業者からの発問等に応ずる。 (1)個人で考える。 (2)班で協働する。 (3)情報収集する。	○ヒントを与え誘導なども行いながら、机間指導し、問題解決を支援する。	○より深く問題を理解するための新たな知見の獲得に努めている。(関心・意欲・態度) 〈観察〉
4 個人での振り返りを通し、知識の定着を図る。	○本時の学習内容を振り返り、最終的な理解とする。	○振り返りにより、自らの数学力とする。(知識・理解) 〈観察・成果物〉